

性教育に関するアンケート

令和2年5月

公益社団法人 日本産婦人科医会

目 次

はじめに	1
調査状況	1
調査書面	2
調査用紙	3
調査結果	
1. 医師会、医会などに教育庁や学校などからの依頼を受ける「性教育に関する 講師派遣窓口」は、ありますか？	4
2. 上記2. で無の場合 今後、講師派遣窓口を設置する予定はありますか？ *ない場合は、早急に設置をお願い致します（国から要請されています）	5
2-2. 上記1. で有の場合連絡方法をお教え下さい。（複数回答可）	5
3. 性教育に関する講義を行う講師のリストはありますか？	6
4. 性教育に関する講義の依頼は、2019年（2019年度）に何校程度ありまし たか？	6
5. 講義する産婦人科医のための研修会を開催していますか？	7
6. 上記質問で1. 開催している場合の開催頻度をお教え下さい。 （例：年1回程度）	7
7. 講義するにあたり、標準スライド等の用意はありますか？	7
8. 性教育に関する講義の講師派遣にあたり、お困りの事があればご自由に記載 ください。	8
まとめと課題	11

はじめに

日頃より本会事業にご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

令和 2 年年 3 月 12 日にご依頼いたしました「性教育に関するアンケート調査結果」がまとまりましたので、ここにお送りいたします。

本調査は、「健やか親子 21（第 2 次）」の目標の 1 つで、まだ十分には達成されていないとされる「学校における効果的な性教育」のために、産婦人科医などの外部専門家を活用していただきたいとする厚生労働省こども家庭局母子保健課長からの協力要請（令和元年 11 月 21 日付）をうけて行ったものです。各都道府県において、教育庁、医師会と医会/学会の間に、性教育の外部講師による出前講座の依頼があった際に、速やかに対応して頂くための窓口設置の状況確認、出前講座を行うための問題点などを挙げて頂くものでした。

結果として、窓口未設置の都道府県が 18 カ所ありました。未設置の都道府県には、背景に様々な問題点のあることを把握させていただきました。しかし、外部専門家によるより充実した効果的な性教育を推進するために、早急に産婦人科医に直結できる学校や教育委員会からの連絡の窓口を作って頂きたく、重ねてお願いする次第です。また、設置終了後には本会にご連絡いただきますよう、お願いいたします。

なお、今回の調査結果については、都道府県窓口の連絡先一覧とともに、皆様から挙げられました課題と特に適切な講師料の設定や余裕のある講習会の日程調整なども要望として、厚生労働省の方へご報告させていただきます。

時節柄、くれぐれもご自愛いただき、地元での性教育の活性化に対し、今後もよろしくごお願い申し上げますとともに、この COVID-19 による社会的に大変な状況の中、性教育に関するアンケート調査にご尽力頂きました皆様へ深謝いたします。

令和 2 年 5 月

公益社団法人日本産婦人科医会

女性保健部会 担当常務理事

安達 知子

調査状況

調査期間：令和 2 年 3 月 12 日～3 月 31 日

調査対象：47 都道府県産婦人科医会

回収状況：47 都道府県産婦人科医会（回収率 100%）

日産婦医会発第 418 号

令和 2 年 3 月 12 日

各都道府県産婦人科医会 会長 殿

公益社団法人日本産婦人科医会

女性保健部会

常務理事 安 達 知 子

女性保健委員会

委員長 野 口 ま ゆ み

思春期・成熟期小委員会

委員長 北 村 邦 夫

性教育に関するアンケートについてのお願い

拝啓 日頃より本会事業にご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

厚生労働省からの通達をうけて、各都道府県において、教育庁・医師会と医会の間
に性教育の出前講座の依頼があった際に対応するための窓口設置をお願いさ
せていただきました。

その状況についての、各都道府県産婦人科医会に対してのアンケートでござ
います。

ご多用の折とは存じますが、令和 2 年 3 月 31 日までにメール (afuku@jaog.or.jp) に
て、ご回答賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

問合せ先：日本産婦人科医会

女性保健部

TEL：03-3269-4739

FAX：03-3269-4730

メール：afuku@jaog.or.jp

性教育に関する講師派遣窓口アンケート用紙

都道府県名 _____

回答者氏名 _____

(黄色の部分は、数字のみ記載・白色の部分は、理由を記載下さい。)

1. 医師会、医会などに教育庁や学校などからの依頼を受ける「性教育に関する講師派遣窓口」は、ありますか？ *ない場合は、早急に設置をお願い致します（国から要請されています）	1. 有 2. 無	
	1. 有の場合 具体的な窓口をお教え下さい	
	施設名	
	住所	
	電話番号 メールアドレス	
2. 上記2. で無の場合 今後、講師派遣窓口を設置する予定はありますか？	1. 有 2. 無	
	1. 有の場合 いつ頃設置予定ですか？	
2-2. 上記1. で有の場合 連絡方法をお教え下さい。 (複数回答可)	1. 電話	
	2. メール	
	3. 書面（郵送等）	
	4. その他（具体的な方法を記載下さい）	
3. 性教育に関する講義を行う講師のリストはありますか？	1. 有 2. 無	
	1. 有の場合 何名程度いますか？	
4. 性教育に関する講義の依頼は、2019年（2019年度）に何校程度ありましたか？	小学校何校	
	中学校何校	
	高校何校	
	その他	
5. 講義する産婦人科医のための研修会を開催していますか？	1. 開催している 2. 開催していない	
6. 上記質問で1. 開催している場合の開催頻度をお教え下さい。 (例：年1回程度)		
7. 講義するにあたり、標準スライド等の用意はありますか？	1. 有 2. 無	
	1. 有の場合 具体的に、何を用意していますか？	
8. 性教育に関する講義の講師派遣にあたり、お困りの事があればご自由に記載ください。		

(1と記載下さい)

(2と記載下さい)

(3と記載下さい)

性教育に関する講師派遣窓口アンケート

1. 医師会、医会などに教育庁や学校などからの依頼を受ける「性教育に関する講師派遣窓口」は、ありますか？*ない場合は、早急に設置をお願い致します（国から要請されています）

	回答者	1. 有 2. 無	1. 有の場合 具体的な窓口をお教え下さい	施設名	住所	電話番号	メールアドレス
	1. 有	29					
	2. 無	18					
1	北海道 佐藤 智子	2					
2	青森 齋藤 美貴	1		青森県医師会 医療企画課、 都市医師会	青森市新町2丁目8-21	017-723-1911	takeda@aomori.med.or.jp(担当者: 武田浩史)
3	岩手 吉田 耕太郎	1		盛岡市医師会	盛岡市愛宕町18-6	019-625-5311	ishi01@morioka-med.or.jp
4	宮城 常任理事 松原 雄	1		宮城県産婦人科医学会事務	仙台市青葉区大手町1-5	022-227-1591	office@maog.jp
5	秋田 利部 徳子	1		秋田県医師会	秋田市千秋久保田町6-6	018-833-7401	info@akita.med.or.jp
6	山形 井上 聡子	2					
7	福島 桜井 秀	1	福島県産婦人科医学会 思春期保健委員会	福島県産婦人科医学会	福島市新町4-22 福島県医師会内	024-522-5191	faog@fukushima.med.or.jp
8	茨城 事務局 豊田	1	いはらき思春期保健協会	(公社)いはらき思春期保健協会	水戸市笠原町993-17 水戸市医師会館1階	029-305-7563	
9	栃木 渡辺 尚	1	栃木県産婦人科医学会 女性保健委員会				
10	群馬 永山 雅之	1	医会	群馬県産婦人科医学会	前橋市千代田町1-7-4	027-231-5311	nishida@mail.gunma.med.or.jp
11	埼玉 平田 善康	2					
12	千葉 岡嶋 祐子	2					
13	東京 会長 山田 正典	1		東京産婦人科医学会	新宿区市谷砂土原町1-1 保健会館別館3F	03-3269-4695	jimu2@taog.gr.jp
14	神奈川 学校医委員会 植田 啓	1	1 神奈川県産科婦人科医学会 2 大和市医師会など				
15	山梨 武者 稚枝子	2					
16	長野 木村 薫	2					
17	静岡 宮崎 千恵子	2					
18	新潟 会長 吉谷徳夫	2					
19	富山 種部 恭子	1	富山県産婦人科医学会 または富山県医師会				
20	石川 荒木 克己	1	石川県産婦人科医学会		金沢市鞍月東2-48 県医師会内	076-239-3800	
21	福井 鈴木 綾子	2					
22	岐阜 宮崎 千恵	1		岐阜県産婦人科医学会	岐阜市藪田南3-5-11	058-214-8021	sanpu-info@gifu.med.or.jp
23	愛知 担当理事 加藤 久典	1	愛知県助産師会		名古屋市千種区神田町5-8 千種公園うたの森 3階	(052) 721-7118	https://aichi-josanshi.jimdofree.com/事業活動一覧/
24	三重 金丸 恵子	1		三重県産婦人科医学会	三重県津市桜橋2-191-4	059-224-7321	mie-sanfu@opal.ocn.ne.jp
25	滋賀 高橋 健太郎	2					
26	京都 田村 秀子	1		高校生は京都府医師会 その他は京都産婦人科医学会	京都市中京区西ノ京東梅尾町6 京都府医師会地域医療3課	075-354-6134	hkikuchi-j@kyoto.med.or.jp
27	大阪 田辺 晃子	1		大阪府産婦人科医学会	大阪府中央区瓦町4-4-3 日宝本町西ビル2階	06-6227-5383	osaka-og@aiores.ocn.ne.jp
28	兵庫 山崎 峰夫	1		兵庫県産科婦人科学会事務局	神戸市中央区磯上通6-1-11	078-222-1805	hyosanpu@circus.ocn.ne.jp
29	奈良 赤崎 正佳	1		奈良県医師会出前講座/奈良県産婦人科医学会	奈良県橿原市内膳町5-5-8	0744-22-8502	
30	和歌山 中村 光作	2					
31	鳥取 中曾 庸博	2					
32	島根 江田 芳美	1	①島根県教育委員会健康アドバイザー講師派遣事業 ②出雲圏域思春期ネットワーク ③助産師会	江田クリニック産婦人科	出雲市大津町260	853307888	eda-clin@tx.miracle.ne.jp
33	岡山 伊原 直美	2					
34	広島 新甲さなえ	2					
35	山口 会長 藤野 俊夫	2					
36	徳島 河野 美香	2					
37	香川 藤田 卓男	1	高瀬第一病院	高瀬第一病院	三豊市高瀬町上高瀬1260	0875-72-3850	
38	愛媛 宮内 文久	1	愛媛県産婦人科医学会	愛媛県医師会内	松山市三番町4-5-3	089-943-7582	kasai@ehime.med.or.jp
39	高知 坂本 康紀	1		高知県産婦人科医学会	高知市丸ノ内1丁目7-45 総合あんしんセンター4階	088-824-8366	39-jaog@kochi.med.or.jp
40	福岡 会長 平川 俊夫	1	事務局、古藤泰斗恵	福岡県産婦人科医学会	福岡市博多区博多駅南2-9-30	092-431-4845	faog_office@fukuoka.med.or.jp
41	佐賀 事務局	1	佐賀県産婦人科医学会	佐賀メディカルセンター	佐賀市水ヶ江1-12-10 4F	0952-37-1414	
42	長崎 会長 村上 俊雄	1		長崎県産婦人科医学会	長崎市茂里町3番27号	095-844-1110	sanfujinka@nagasaki.med.or.jp
43	熊本 田畑 愛	1		フォーシーズンズレディースクリニック	熊本市中央区城東町4-7グランガーデン熊本ビル2階	096-278-7870	tabatagyne@gmail.com
44	大分 常任理事 貞永 明美	1	大分県産婦人科医学会 女性保健部	大分県産婦人科医学会	大分市大字駄原2892-1	097-532-9121	fukusi@oita.med.or.jp
45	宮崎 事務局 鳥井元 進一	1	宮崎県産婦人科医学会 事務局	宮崎県産婦人科医学会 事務局 (宮崎県医師会内)	宮崎市和知川原1-101	0985-22-5118	sanfujinkaikai@miyazaki.med.or.jp
46	鹿児島 事務局 坂上	2					
47	沖縄 神谷 仁	2					

性教育に関する講師派遣窓口アンケート

		2. 上記2. で無の場合 今後、講師派遣窓口を設置する予定はありますか？ *ない場合は、早急に設置をお願い致します (国から要請されています)		2-2. 上記1. で有の場合 連絡方法をお教え下さい。 (複数回答可)			
		1. 有 2. 無	1. 有の場合 いつ頃設置予定ですか？	1. 電話	2. メール	3. 書面 (郵送等)	4. その他 (具体的な方法を記載下さい)
		1. 有 2. 無		25	23	25	
1	北海道	2					
2	青森			1	2	3	FAX
3	岩手			1		3	
4	宮城					3	
5	秋田					3	3年間で全ての県内中学校・高等学校で性教育講座を受けることできるような年間計画を作成(県教育庁と医師会連携)+性教育医師派遣バンク制度あり
6	山形	1	2020年8月以降				
7	福島			1	2	3	
8	茨城			1	2	3	県医師会事務局、県産婦人科医会事務局、保健所に講師派遣の問い合わせがあった場合、断ったりたらい回しにせず、担当者の連絡先を聞き、いはらき思春期保健協会に伝え、協会から申込者に連絡してもらう。(以前、問い合わせがあった際、事務局が心当たりの医師に連絡をとり探したが結局誰も都合がつかず断ったことがあり、学校からすると決まるまでに時間がかかり過ぎたことがあった)
9	栃木			1	2	3	
10	群馬			1	2	3	
11	埼玉	1			2		
12	千葉	1					
13	東京			1	2	3	
14	神奈川			1	2		大和市は直接市と連絡
15	山梨	1	令和2年度中	1	2	3	
16	長野	1	未定				
17	静岡	1	2022年までには設置したい	1	2		
18	新潟	2					
19	富山			1	2	3	
20	石川			1		3	
21	福井	2					
22	岐阜			1	2		1の場合、月、火、木、金
23	愛知			1			
24	三重			1			FAX 059-224-8661
25	滋賀	1	出来るだけ早急に				
26	京都						京都府の事業として行っているので毎年6月に全高校に周知される。申込先である医師会を通して医会に依頼がある。高校以外は直接医会事務局に依頼。連絡はいずれの方法も可
27	大阪			1	2	3	
28	兵庫			1	2	3	
29	奈良			1	2	3	
30	和歌山	1	未定				
31	鳥取	2					
32	島根			1	2	3	
33	岡山	1	2020年6月ごろまでには	1	2	3	
34	広島	2					
35	山口	2					
36	徳島	2					
37	香川					3	
38	愛媛			1	2	3	
39	高知			1	2	3	
40	福岡			1	2	3	
41	佐賀			1		3	
42	長崎					3	
43	熊本				2		
44	大分				2	3	
45	宮崎			1	2	3	
46	鹿児島	2					
47	沖縄	2					

性教育に関する講師派遣窓口アンケート

		3. 性教育に関する講義を行う講師のリストはありますか？		4. 性教育に関する講義の依頼は、2019年（2019年度）に何校程度ありましたか？			
		1. 有 2. 無	1. 有の場合 何名程度いますか？	小学校何校	中学校何校	高校何校	その他
1. 有		22		368	647	480	73
2. 無		23					
1	北海道	2		0	0	0	0
2	青森	1	19名+助産師数不明		58	80	
3	岩手	1	9名	0	14	6	1
4	宮城	1	9名	0	4	9	1
5	秋田	1	県教育庁からの講師派遣依頼に対し会員を年間のべ65名程度派遣（リスト無し） 上記以外の学校からの講師派遣依頼に対応するために、2019年度より県医師会で講師バンク事業をスタートし、現在の登録者は16名	0	42	26	0
6	山形	2		16	18	14	3
7	福島	1	23名	0	0	0	0
8	茨城	1	約100名	222	202	98	50
9	栃木	1	女性保健委員が9名	0	25	22	0
10	群馬	1	16名	4	20	9	
11	埼玉	2	県にあり				0
12	千葉	2		1	0	0	0
13	東京	1			10	47	
14	神奈川	1	約10名				
15	山梨	2		0	0	0	本会への依頼はないが、個々への依頼は数校あり（その他として児童養護施設からの依頼あり）
16	長野						
17	静岡	2					
18	新潟	2					
19	富山	1	15名	5	40	15	5
20	石川	2		0	0	0	0
21	福井	2			8	3	
22	岐阜	1	現在12名	1	22	1	
23	愛知						
24	三重	1	10名	0	50	21	
25	滋賀	1	18名		1	1	
26	京都	1	20名			7	
27	大阪	1	約50名	4	13	9	2
28	兵庫	2		0	0	0	0
29	奈良	2					
30	和歌山	2					
31	鳥取	2					
32	島根	1	8名 その他助産師会のメンバー	110	54	20	
33	岡山	1	7名	0	0	0	
34	広島	2		0	1	5	
35	山口	2		0	0	0	0
36	徳島	2		0	0	0	0
37	香川	2				1	1
38	愛媛	2	5名	5	5	1	2
39	高知	1	10名	0	2	1	0
40	福岡	1	県立高等学校95校(81名)		4	36	3
41	佐賀	1	医師：28名 助産師：74	0	34	17	3
42	長崎	2			8	3	1
43	熊本	1	4名		10	2	
44	大分	2				10	
45	宮崎	2		0	2	16	1
46	鹿児島	2		0	0	0	0
47	沖縄	2		0	0	0	0

性教育に関する講師派遣窓口アンケート

		5. 講義する産婦人科医のための研修会を開催していますか？	6. 上記質問で1.開催している場合の開催頻度をお教え下さい。(例：年1回程度)	7. 講義するにあたり、標準スライド等の用意はありますか？	
		1. 開催している 2. 開催していない		1. 有 2. 無	1. 有の場合 具体的に、何を用意していますか？
	1	14		22	
	2	31		23	
1	北海道	2		2	
2	青森	1	青森県臨床産婦人科医会での開催実績あり	2	
3	岩手	2		1	岩手県医師会で作成したCD及びダウンロードできるようにしています。中紀、性病、避妊、妊娠のしくみ、ピル、HPV予防ワクチン、禁煙関連、人との接し方関連
4	宮城	2		1	日本産産婦人科医会作成のパワーポイント
5	秋田	1	年1回	1	医師会監修スライド
6	山形	1	年1回	2	
7	福島	1	年1回程度	1	日本産婦人科医会 女性保健部作成スライド
8	茨城	1	年3回。県内全医療機関・看護協会・保健所・保健センターと県立高校・市町村教育委員会に通知を出し、医療関係者と教育関係者を対象に10月、12月、1月に県外から外部講師を招いて講習会を開催している。出席者のうちの希望者を次年度の講師リストに掲載し、一覧表(氏名・職種・市町村)を学校に紹介している。	2	
9	栃木				
10	群馬	1	講師が固定しているため近年は開催していない	1	パワーポイント
11	埼玉	2		2	
12	千葉	2		2	
13	東京	1	年1回程度	1	パワーポイント
14	神奈川	1	年1回	2	
15	山梨	2		2	個人的に講義をしている先生は、個々に用意したものを使用
16	長野				
17	静岡	2		2	
18	新潟	2		2	
19	富山	1	年1回	2	
20	石川	2		2	
21	福井	2		1	日本産婦人科医会のスライドを基本に作成したものがあります
22	岐阜	1	3年に一度	1	日本産婦人科医会資料と蓮尾先生の資料の一部
23	愛知	2		1	パワーポイントデータ
24	三重	1	年1回	1	USB
25	滋賀	2		1	日本産婦人科医会「思春期ってなんだろう？性ってなんだろう？」
26	京都	2		1	京都産婦人科医会として作成した講義用パワーポイント
27	大阪	1	年1回	1	power pointスライド
28	兵庫	2		2	
29	奈良	2		2	
30	和歌山	2		2	
31	鳥取	2		2	
32	島根	1	1-2回程度産婦人科医会の研修や研究会を通じて	1	スライド原稿を作成しておりCDで渡すことができるが、個人で作成している講師もいる
33	岡山	2		2	
34	広島	2		1	PPt 医師用・助産師用
35	山口	2		2	
36	徳島	2		2	
37	香川	2		1	日本産婦人科医会から提供されたスライドを参考に独自に作成したもの
38	愛媛	2		2	
39	高知	2		2	
40	福岡	2		1	福岡県健康相談事業(性と心の健康相談) 講演教材モデルを作成中(PPt、CD付)。
41	佐賀	1	2~3年に1回	1	パワーポイントデータを作成し、佐賀県医師会のHPに掲載している
42	長崎	2		1	日本産婦人科医会のスライド
43	熊本	2		1	スライドです
44	大分	2		1	日産婦のスライド
45	宮崎	2		1	日本産婦人科医会作成のスライド中学生・高校生のきみたちへ思春期って何だろう？性って何だろう？
46	鹿児島	2		2	
47	沖縄	2		2	

性教育に関する講師派遣窓口アンケート

		8. 性教育に関する講義の講師派遣にあたり、お困りの事があればご自由に記載ください。
1	北海道	
2	青森	青森県教育庁スポーツ健康課が関わり青森県教育委員会から委嘱を受けている産婦人科医制度の登録医は10名（校医Aは6名）。弘前市は弘前市教育委員会と弘前市医師会を通して全中学校16校。八戸市は八戸市いのちを育む教育アドバイザー事業で産婦人科医8名、泌尿器科医1名、小児科医1名が委嘱を受け、全中学校24校。近隣市町村は学校から直接、行政の保健師を通して等々。小学校～中1は助産師講師が多く、把握できていない。結局講師個人に連絡があり、日程のやりくりになっている。
3	岩手	県が広く、産婦人科医が少なく偏在も著しい。医会として派遣はハードルが高い。 【4. 性教育に関する講義の依頼は、2019年（2019年度）に何校程度ありましたか？について】 中学校・・・14校内、盛岡市医師会5校 高校・・・6校内、盛岡市医師会3校 その他・・・1校内、盛岡市医師会0校 アンケート補足：岩手県医師会館内の岩手県産婦人科医会に性教育に関する相談窓口はありますが講師派遣窓口とはなってはおりません。派遣相談が来た時には、お願い出来そうな先生に依頼してみる事は今までもありましたが、現在は依頼は来ていません。年に一度の県の医師会と県教育委員会との懇談会でも依頼を受け入れるアナウンスはしているので地域ごとに個別に依頼しているのが現状です。盛岡市医師会では学校教育関係者宛に毎年、性教育の案内を出して講師派遣をしています。他は産婦人科医の少ない地域が殆どですのでその地域では直接産婦人科医に依頼が来ているようです。助産師、保健師さんへの依頼で講演を行っている所も多いのが岩手県の現状です。この産婦人科医が少なく、広域の岩手県の性、思春期教育を充実したものにするために、県医師会主導で教育現場にアンケートを出し、今後の教育を医師、助産師等と話し合い統一性のある準備をしている所です。
4	宮城	
5	秋田	
6	山形	山形県では平成7年より県教委が行う専門医派遣事業として産婦人科医師が外部講師を務めています。上記の講演実績は今年度の県教委の報告です。その他の市町村でも独自の事業が展開されており、今後も連携を続けていきます。現在産婦人科医会の中には「窓口なし」と回答しましたが、今後も教育現場主体の県独自の性教育を専門職である産婦人科医師がバックアップしていくという形で継続する予定です。県内の講師リストはかねてから要望がありましたので早急に作成し、また個々の実績を医会として把握できるシステムも構築する予定です。
7	福島	福島県産婦人科医会 思春期保健委員会では産婦人科医師の性教育講師を多人数有し、講演の依頼を心待ちにし、福島県教育委員会に積極的に性教育講師派遣の依頼をお願いしているが、「予算が無い」等の理由により県からの直接の依頼実績がここ数年全くない状況である。
8	茨城	【性教育に関する講演の実施】2019年度はまだ集計が終わっていません。2018年度の数値を報告しました。小学校222/489校（実施率45.4%） 中学校202/222校（実施率91.0%） 高等学校98/98校（実施率100%）。小学校では事業名に性教育を使わない地域もあり、「思春期教育講演会」・「学校保健委員会合同研修会」・「親子講演会」等で実施した学校も含むと小学校の実施率は例年7割程度である。【講義の依頼の数について】実際には日程の都合が合わず、学校は計画していたが講演会が開催できないこともあった。数字は実施した校数なので、依頼件数はもっと多い。【講師派遣での困りごと】茨城は物価が安く講演料が少額。（旅費のほうがかかることもある）。学校で講演活動をしたい講師は多いが、実際には講師の条件と学校の予算が合わないことが多い。
9	栃木	新しい情報の入ったスライドを毎年医会から送っていただけるとありがたいです。
10	群馬	
11	埼玉	人材不足、研修不足
12	千葉	講演料を誰がいくら負担するべきかが明確になっていない。 性教育に関する講義の講師派遣にあたり、困っていること。 昨性教育の講師派遣を依頼してきた小学校の教頭先生は安く、できれば無償で性教育の講演をしてくれないかとのことであつた。既に千葉県内には助産師が主体となった団体が性教育を実践しており、命の大切さを軸にしなが、よく練られた資料を使って、文科省の学習指導要領に触れないようにうまく避妊や性感染症の説明も行なっていてPTAにも評判が良いのだが、講演料が1回30000円で高い。PTA会費から捻出しているが、もっと安くやってくれないかとのことであつた。東京電力とかに講師派遣を依頼すると無料でやってくれるのだが、やはりデリケートな部分もあり、産婦人科医会で講師を推薦してくれると安心だからというような話で、聞いていてやや腹立たしい気持ちもあつたが、念のため、県内で小学校で性教育を行なつた経験のある先生に打診してみたが当然のこととも思われるが、「必ずしも性教育は産婦人科医が行わなくても適した講師はいるでしょう」と断られた。したがって結局こちらでは推薦できる講師はいないと返答した。開業医が外来診療を半日休診にして性教育の講演を行う場合を考えれば、外来診療半日分に見合った講演料とは言えないが、できるだけ安くとか、無償でと言われては現実的には千葉県産婦人科医会としては産婦人科医の講師派遣は不可能である。 そもそも国が学習指導要領の一環に性教育も必要として性教育の講師派遣を産婦人科医会に要求してくるのであればそれに関わる講演料は国が予算化して全国一律でなくても良いが最低ラインは確保してほしい。それとも産婦人科医会としては国から要請され、社会的使命で必要なので、講演料は産婦人科医会の会費から捻出するということになるのか。それともPTA会費で賄えというのか？個人的には判断できないが、講師の講演料についてうやむやではごく一部の社会的使命に燃えたボランティア精神のある産婦人科医だけしか講演できないであろうし、それでは全国の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校にはとても回らないであろう。一般の産婦人科医も性教育の大切さは痛切に感じているので、性教育の講師も講習を受けてやっという人は多いと思う。性教育を全国に普及、充実させるのは日常診療と同じくらいマンパワーのいることと思う。そのためには、ある程度納得のいく報酬は講師に支払われるべきと考える。日本産婦人科医会の見解を知りたい。

13	東京	今後、都内中学校での性教育指導が増えていくことが予想され、講師が不足する見込みです。 東京都医師会を通じて、学校医の健康教育のひとつとして性教育の授業を行い、学校医との連携をはかっていきます。
14	神奈川	昨年度退職された横浜市立中学校の副校長（養護教諭）は、横浜市の性教育は養護教諭で対応可能、産婦人科医にお願いすることはないと考えていました。医師会と協力して教育委員会に働きかけていきたいと思っています。大和市は、2019年度の講師料は全て医師会・医会もちでした。小田原市民病院の医師は市立中学校に性教育に行っていますが、勤務時間内なので支給されるのは交通費だけです。
15	山梨	1) 費用面（事前の打ち合わせや当日の講義など） 2) 上記7のアンケートの回答の通り、本会としての標準スライドの用意がない（日本産婦人科医会女性保健部が作成しているスライドの用意のみ）
16	長野	
17	静岡	静岡県では、県医会での講師派遣窓口は設置していませんが、浜松市、静岡市清水区では教育委員会から市医会への依頼窓口はあります。特に浜松市では、派遣講師登録、研修会開催が行われています。その他地区でも、学校からの個人への講師依頼を受けている先生方も多くおられ、今回はその全数を把握し報告することはできませんが、全県下では相当数の「医師による出前講座」が実施されています。それぞれの地区、個人の活動で既に長年性教育講座が実施されているため、全県下一つの窓口にまとめるには少々時間がかかります。2022年に主催する性教育指導セミナー全国大会の準備の中で講師派遣窓口を一本化する方向を考えていく予定です。
18	新潟	県産婦人科医会として、詳細は把握してはいますが、講義を依頼されている会員や病院（多くは助産師が対応）はあるようです（あります）。また、県内の助産師会などでも対応しております。これまで本会が直接、教育庁や学校などから「性教育に関する講師派遣依頼」を受けたことはありません。近時の統計で、本県は産婦人科医数が少ないと指摘されたことや、地理的条件（広域）を考慮しますと、「性教育に関する講師派遣」要請については他職種での対応を模索すべきであり、本会に「性教育に関する講師派遣窓口」早急設置をお願いされても対応が難しいところです。
19	富山	困っていることはない。 上記の講義依頼は産婦人科医会を通して行われているものだけではなく、富山市学校保健産婦人科専門医制度（富山市教育委員会事業）等で講義を担当している産婦人科医が他市町村から直接依頼を受けて実施しているものも含む。
20	石川	
21	福井	10年近く前に、窓口や講師のリストを作り、講演を行っていましたが、最近では、個々の医師の活動が主となっております。
22	岐阜	高校生と専門学校の性教育に関し、県庁は義務教育のみの管轄で、私学が混在するため、積極的ではなかった、高校へは民主党政権の時に予算が半分に減額され各県に年間100万円ですポーツ推進事業に一環として、1~2校のみの出前講座であった。 岐阜県においては、これまで義務教育即ち、中学3年生への性教育に「避妊やピルの話はしてほしくない」と拒否する学校も多く、これまで苦慮していた。成育基本法が成立した今、自見はなこ議員の国会委員会において、文科省も厚労省からの要請に協力すると委員会でも約束しているように、高校、専門学校、成人式、大学などでの産婦人科医師の性教育出前講座の要請を積極的に行うように、日本産婦人科医会より、強く要望してほしい。 全校でも青森県のように、県の医師会などが行政と一体となって行っているところもあるが、少子化問題が深刻な日本の現状で、厚労省、文科省、各自自治体が、ばらばらで一環とした方針がとられていないことは本当に残念です。
23	愛知	愛知県助産師会が「思春期・性教育セミナー」を県の委託事業として実施しているが、愛知県産婦人科医会はこの事業に直接関与していないため詳細不明。 現状、学校等から県内会員（産婦人科医師）へ直接講師依頼をするケースはあると思われるが、愛知県産婦人科医会が講師派遣依頼受けるケースはない。 ただし、産婦人科医師が性教育講義で使用するパワーポイント資料は愛知県産婦人科医会が作成し、必要に応じて県内会員に配布している。
24	三重	学校の都合が近い日ですと講師が見つけれないことがあり、なるべく2か月以上前には知らせてもらうよう求めています。
25	滋賀	滋賀県では学校保健総合保健サポート事業（文科省委託事業）で地域学校保健サポート事業として産婦人科医の派遣依頼があるが、地域学校保健関係者（学校保健委員会）が主であり、出前事業は子育て・女性健康支援事業（滋賀県委託事業）で助産師会に委託し助産師の派遣を行っている。これらの2つの事業を窓口を1本にすることが望ましく現在、検討協議会を発足し検討中である。ただ、学校側が支払う講師料の問題が一番の支障で依頼が少ないのが現状である。
26	京都	学校が希望される時間帯と医師が外向可能な時間帯とがマッチング不可能なことがある。学校はカリキュラムとして時間帯を移動することは不可能、とのことで、医師を派遣することができず、性教育を行えない、ことがある。
27	大阪	講師への謝礼金
28	兵庫	今までに性教育に関する講義の講師派遣要請の窓口として特化した態勢はとっていませんでしたが、具体的な講師派遣があれば、直ちに役員会、各種委員会にて適切な人材を推挙し派遣することといたします。
29	奈良	
30	和歌山	
31	鳥取	【現状】県教育委員会より県医師会に講師派遣の依頼があった場合に、産婦人科医会に相談があり講師の紹介をしている。元年度については、県教育委員会より直接以前講師をお願いした先生に依頼をされた。（件数は把握していない。）

32	島根	頼む方は予算と授業の枠を確保する困難さがあるそうです。依頼される側は講師の少なさ、日程の調整、講義をしている間の分娩待機の確保、そして抗議している医師は高齢化しており、次世代の育成、引継ぎの問題を抱えています。また依頼先も3か所あり、個々に依頼していると県全体の実態はつかみにくいです。過疎化の地域は講師も不足していると思われます。依頼のあった、小学校（110校は助産師会への依頼）中学校54校（40校は助産師会へ依頼）高校20校（15校は助産師会への依頼）
33	岡山	
34	広島	*DVDに収録したPPT教材を養護教員に配布し活用していただいております 健康福祉局母子保健グループで、性教育の協力医リストを持っています(県下10名程度)が、派遣窓口としてはあまり活用されていません。希望する学校が、個人的つながりなどで直接医師や助産師に依頼している場合がほとんどのようです。また、性教育に消極的な学校が依然として多いことが問題です。
35	山口	
36	徳島	産婦人科医会にて講師派遣の窓口は必要と感じていますし、講師になってくださる先生はいらっしゃると思います。しかし現在のところ産婦人科医会の窓口には学校から問い合わせは来ていませんし、個々の学校は近隣の産婦人科医に依頼をしているようです。また県の助産師会が窓口を作っており、学校からの依頼が定期的に1年間に10件?ぐらいはあるということです。
37	香川	
38	愛媛	性教育の範囲が大きく広がっているので、依頼施設が何を求めているかあらかじめ把握することが必要となっています。例えば男女交際に重点を当てて欲しいのか、性感染症を含めて欲しいのかどうかなど、です。
39	高知	高知県産婦人科医会は会員数が少なく、講師の派遣には苦労している状況です。また医会本部より講義標準化スライドや講義産婦人科医研修会に使用するスライドファイル、資料の提供をいただければありがたいと思います。 外部講師：坂本康紀・乾 泰延・林 和俊・岡本啓一・濱脇弘暉・三木 鈴・小林津月・松岡志保・滝川稚也・木下宏実先生
40	福岡	
41	佐賀	・佐賀県の事業として公立の中学、高校で性教育が実施されているが、講師派遣依頼を受けてから、回答するまでの期間が短い。また、候補日を1つしか設けていない学校があり、調整が難しい場合がある。 ・独自のスライドデータを持ち込んだ場合、ウイルス対策のため学校でPCを準備頂けないことがある。その場合は講師がPCを持参しなければならない。 ・講義後に感想文を提出頂いた際、学校側でいい感想だけを選んで送られてくることがある。全て送付頂くよう教育庁へ依頼を行った。
42	長崎	窓口を県産婦人科医会としており、依頼があった場合には、基本的に地区理事にお願いしている。 また地区での対応が難しい場合は、関連病院等に依頼し派遣を行っている。今のところ問題はない。
43	熊本	まだ始まったばかりですので、これから出てくると思います。
44	大分	・勤務医の先生の時間の取り方 ・教育委員会の中で性教育をしようとするシステム作りに対する熱意を感じない。 ・窓口を通しての件数は上記だが、ある会員が個人的に受けている件数は、大体小学校0~1校、中学校20校(35回)、高校8校など。 報酬も3千~2万円と様々。金額が少ないと後継者が育たない。 本県は予算が少ない。 ・事務局窓口が機能するようになれば、性教育も充実するかもしれない。
45	宮崎	学校側の日程候補が少なく、講師との日程調整が難航する。
46	鹿児島	ない場合は、早急に設置をお願い致します(国から要請されています)→県産婦人科医会に設置することとなっているのでしょうか。その文書をお教え頂ければ幸いです。
47	沖縄	講師派遣に関しては具体的に県医会で話し合っておりません。講師派遣窓口の設置を議題に上げて詰めていきたいと思っております。

まとめと課題

厚生労働省からの通達をうけて、性教育の出前講座の依頼があった際に対応するための窓口の設置状況の確認とともに、性教育に関する調査アンケートを行いました。

「性教育に関する講師派遣窓口」は 29 都道府県に設置されており、18 の都道府県において未設置であった。今後の設置予定は 9 県で、残りの 9 つの地域では設置の予定なしの状態であった。また、派遣する講師のリストがあるのは、22 の都府県となっていた。窓口設置のない地域でも県ではなく市などで対応しているところや、複数の産婦人科医が個人的に性教育の授業を請け負っていることを把握している地域もあった。また、助産師、養護教諭が対応しているところ、学校が性教育に消極的なところなどの地域も見られた。

一方、窓口が設置されていても、日程や派遣する産婦人科医の調整が難しく、運営の難しさを訴えるところも多かった。各都道府県の医会・医師会とは別に地域の教育機関と関係を築いて性教育をおこなっている産婦人科医や助産師が存在することはよいことではあるが、今後、新たに性教育を取り入れたい学校や講師となる医師のためにも窓口があることは有用である。このアンケートをきっかけに、窓口設置を考えるとする地域も複数認められた。今後は、これまでに築いてきた関係を継続できるように配慮しつつ、地域の性教育の授業の実態を把握し、新たな有効な関係を構築できるように窓口設置を進めて頂きたい。

講演する産婦人科医の研修会は 14 都道府県で 1 年から 3 年に 1 回おこなっているとの回答はあったが、31 都道府県では開催していないとの返答であった。講演資料としては当会で作成した性教育スライドを基本に作成したものを使用しているとの答えも多くみられた。学校によって内容に関しては温度差があると考えるが、よりよい性教育ができるように、また、地域差が少なくなるように、研修会が可能になるような公的な予算の確保とスライドの更なる充実・ブラッシュアップを目指していきたいと考える。

問題点として、講師料などの予算の問題と日程調整を挙げるコメントが多かった。予算の問題として、交通費しか支払われなかったり、医会や医師会で負担しているところもあった。助産師会など助産師が性教育をおこなっているところも少なくはないようであるが、一県では、助産師会より安く行ってくれないかという問い合わせがきたとのことであった。出前講座を行う場合は、診療を休まなければならない、日程調整や対価も必要である。また、学校側のスケジュールの問題もあり、日程候補日が少なく、講師としての産婦人科医の派遣調整が難しいとの意見もあった。依頼や日程の調整は早い時期から行えるように、教育現場にも働きかける必要があると考える。性教育の準備にかかる時間やモチベーション、診療を休むことをも考えて、ある程度納得のいく講師料を確保できるように、本会も国へ働きかけていきたい。

最後に、改めて学校や教育委員会からの連絡の窓口を医会内や学会内、あるいは医師会内に産婦人科医会と連携を取れるものを作っていただくようお願いします。また、設置が完了された時点で、本会女性保健部会までお知らせくださるよう、再度お願いいたします。地元での産婦人科医による性教育の活性化については、今後も引き続きよろしく願い申し上げます。

本調査結果が貴地域の性教育の活性化にご利用いただけると幸いです。ご多忙の中、調査にご協力頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。